

そろそろ 宇宙は 近くなる!

参加費
無料

定員
300名

参加締切
**2026
7/31** 金
※定員に達し次第
締め切ります。

宇宙ステーションに300日以上滞在したり
子どもたちと一緒に成層圏での実験を成功させたり
宇宙が普通になってきた時代。
次はあなたが宇宙で何をするか
具体的に考えたい2時間です。



2026年8月8日(土)
14:00 ~ 16:15(開場 13:30)

会場 | 富山県民共生センター
サンフォルテ
(富山市湊入船町 6-7)



← 参加申込はこちら
(推奨年齢：小学校中学年以上)

SPEAKER



提供：JAXA

油井 亀美也

JAXA 宇宙飛行士

SPEAKER



北原 達正

e-kagaku 代表理事

SPEAKER

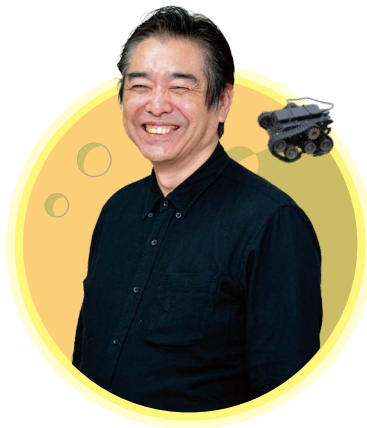


提供：JAXA

油井 亀美也 | Kimiya Yui

JAXA 有人宇宙技術部門
宇宙飛行士運用技術ユニット 宇宙飛行士グループ 宇宙飛行士

1970年長野県生まれ。2015年、第44次/第45次長期滞在クルーのフライトエンジニアとして国際宇宙ステーション(ISS)に約142日間滞在。滞在中は、宇宙ステーション補給機「こうのとり」5号機のキャプチャ(把持)を含むロボティクス運用、宇宙環境を利用した日本および国際パートナーの科学実験、医学実験などを実施した。2025年8月から2026年1月にかけて、Crew-11のISS第73次/第74次長期滞在クルーとして約166日間滞在。滞在中は「きぼう」での様々な実験・技術実証、通信環境整備、広報活動を通じて有人宇宙活動の発展に貢献。



北原 達正 | Tatsumasa Kitahara

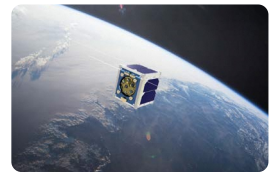
一般社団法人 e-kagaku国際科学教育協会 代表理事

株式会社 サイエンス・ラボ 代表取締役 / 株式会社 Digital Head 代表取締役 /
日本経済新聞宇宙プロジェクトアンバサダー

1958年佐賀県生まれ。2006年株式会社サイエンス・ラボを設立し、海陽学園など多くの学校のICT教育に貢献。明法中学・高等学校では明法GE(グローバルエンデバーズ) Chief Educational Directorに就任する。その後、いわき科学教育推進協議会を設立。廃校を活用した ICT 人材育成のための拠点 e-kagaku 宇宙センターを創設。2019年には世界初となる小中学生、高校生による自作観測機での成層圏探査実験を成功させる。2022年 JAXA と共同研究契約締結。2025年独自開発した小型人工衛星(IWATO)を9月アメリカより打ち上げ、10月に国際宇宙ステーションより放出。

TIME SCHEDULE

- 14:00 開会/挨拶
講演 I 「宇宙の仕事と暮らし」
JAXA 宇宙飛行士 油井亀美也氏
- 15:00 休憩
- 15:15 講演 II
「小学生から本物の人工衛星にチャレンジさせた3つの理由」
(一社) e-kagaku国際科学教育協会 代表理事 北原達正氏
- 16:15 閉会



ジュニアたちが製作した超小型人工衛星 e-kagaku1は、2025年10月油井宇宙飛行士のミッションとして宇宙空間への放出に成功しました。その人工衛星(フライトモデル)と開発中の月面ローバー車も会場でご覧いただけます。



ACCESS

富山県民共生センター サンフォルテ

富山市湊入船町 6-7

お問合せ

ISTS プレイベント運営事務局
(株式会社 PCO 内 ※平日 9:00 ~ 17:00)
富山市桜橋通り2 - 25 TEL.076-461-5718
E-mail event@pcojapan.jp

参加申込
はこちら



※ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。